

各産業分野で掲げた目標の達成に向けた確認資料(観光分野)

<参考資料2>

◆分野全体の目標

<p>観光総消費額 目標設定時(H30):1,104億円 ⇒ 現状(R元):1,096億円 ⇒ R2到達目標:1,053億円以上 ⇒ R3到達目標:1,096億円以上 ⇒ 4年後(R5)の目標:1,288億円以上</p> <p>県外観光客入込数 目標設定時(R元):438万人 ⇒ R2到達目標:400万人以上 ⇒ R3到達目標:435万人以上 ⇒ 4年後(R5)の目標:460万人以上</p>

戦略目標等	第4期計画 スタート時点の 直近値	R2年度の 到達目標	到達目標の モニタリング方法	4月～12月の進捗状況		R3到達目標 (4年後 (R5年度) の目標値)	現状分析を踏まえた次年度の強化の方向性
				R2年度到達目標に対する現状	現状分析		
・全国から誘客できる観光拠点の整備数(累計)	12(R元)	14	・観光拠点の整備として、R2年度は2件の整備が予定されている(新 足摺海洋館SATOUMI、須崎海洋スポーツパーク)。オープンに向けた進捗やその後の運営についてヒアリングを行い確認していく。	13(R2.12月現在)	・SATOUMI(7/18)がオープンし、入館者数は好調に推移している。今後、収集した来館者の意見などを参考にして、サービスの向上につながる指定管理者の取組を支援する。また、須崎海洋スポーツパーク体験学習棟については今年度中の完成を目指している。	16 (16)	・R3年度中にオープンが予定されている観光拠点は、安田川アユおどる清流キャンプ場、天狗荘。いずれの案件についても、実施設計や整備工事の進捗について、関係市町村との調整を密に行っていく。
・広域観光組織の体制強化数(観光庁登録DMO)(累計)	3(R元)	4	・年間を通じて随時行う、広域観光組織の事業進捗確認において、観光庁登録DMOに必要な機能等の状況について確認する。	3(R2.12月現在)	・候補DMOである物部川DMO協議会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、地元のニーズであるコロナ対策に優先して取り組んでいる。現在、DMOとしての組織強化のための事務局体制の強化を図っている。 ・嶺北地域では、新たな広域観光組織を法人化(12/1)し、地域のコーディネート機能の強化に取り組んでいる。	4 (4)	・候補DMOである物部川DMO協議会に、新たにマーケティング及びマネジメント専任人材(県版地域おこし協力隊)を配置し、体制及び機能の強化を支援する。 ・土佐れいほく観光協議会に県職員を派遣し、組織強化を支援する。
・市町村をまたがる滞在型観光プラン数(累計)	—	4 (計画策定)	・観光地域づくり人材育成事業(観光地域づくり塾)の四半期ごとの事業報告において、滞在型観光プランの計画策定状況について確認する。	0(R2.12月現在)	・観光地域づくり塾に、東部、物部川、仁淀ブルー、幡多の4広域観光組織を中心としたグループが参加し、計画策定に取り組んでおり、継続して地域コーディネーター等による支援が必要。	4 (16)	・R2年度に4広域観光組織が中心となって策定した滞在型観光プラン整備計画に基づく、受入環境整備や連携の仕組みづくり等に対する財政的支援や本庁プロジェクトチームによる支援を行う。 ・県全域で滞在型観光プランづくりを推進するため、嶺北地域及び高幡地域の2広域観光組織にも拡充する。
・スポーツツーリズムの強化(県外からのスポーツによる入込客数)(年間)	9.6万人(R元)	12万人	・四半期毎に高知県観光コンベンション協会や、大会主催者等にヒアリングを行うことにより、県外入込客数の達成状況の確認を行う。	R2.1月～12月見込み:34,243人 昨年対比:35%(前年同期:96,782人)	[要因・課題] ・令和2年1月から3月までは龍馬マラソン、Jリーグキャンプ、プロ野球春季キャンプ、プレシーズンマッチ等予定していた大きなイベントが実施されたものの、令和2年3月以降、新型コロナウイルスの影響により、明治安田生命レディス(女子ゴルフ)、カシオワールドオープン(男子ゴルフ)、ラグビートップリーグ、プロ野球(イースタンリーグ、ウエスタンリーグ及び阪神タイガース・オリックスバファローズ秋季キャンプ)等、イベントが軒並み中止となっている。	13万人 (14.5万人)	・プロスポーツの誘致活動の実施(プロ野球・プロサッカーのキャンプやプロゴルフ大会の開催等)。 ・県外入込客数の底上げに向けた、関西圏を中心としたアマススポーツ合宿誘致の強化や大会等の継続した実施と戦略的な広報。 ・県外入込客数の新規拡大に向けた、自然環境を生かしたスポーツツーリズムの推進。
・観光客満足度調査(観光施設)における「大変良い」「良い」の割合の増加(年間)	83%(R元)	81%	・アンケート調査を実施し、4半期ごとにモニタリングを実施することにより達成状況の確認を行う。	85%(R2.3～9) (参考)旅行後の来訪者の総合満足度:全国4位 (じゃらん宿泊旅行調査2020)	・前年同時期と比べ1%の増加となっている。 ・豊かな自然とスタッフの対応、感染症対策もしっかりできており、安心して旅行ができたとの評価をいただく一方で、トイレの洋式化など、受入環境でご意見をいただいている。	82% (84%)	・満足度調査を継続し、内容の分析を行う。 ・観光施設等関係団体へのフィードバックを行い、更なるおもてなしの向上につなげる。 ・受入環境整備への支援を行う。
・観光客満足度調査(宿泊先)における「大変良い」「良い」の割合の増加(年間)	83%(R元)	81%	・アンケート調査を実施し、4半期ごとにモニタリングを実施することにより達成状況の確認を行う。	81%(R2.3～9) (参考)旅行後の来訪者の総合満足度:全国4位 (じゃらん宿泊旅行調査2020)	・前年同時期と比べ増減なく推移 ・食や料理、スタッフの人柄や接客対応、施設の清潔感で評価をいただいている一方で施設の老朽化や新型コロナウイルス対策についての要望があった。	82% (84%)	・満足度調査を継続し、内容の分析を行う。 ・旅館・ホテル等関係団体へのフィードバックを行い、更なるおもてなしの向上につなげる。
・観光庁「宿泊旅行統計調査」外国人延べ宿泊者	9.5万人泊 (R元:確定値)	11.9万人泊	・観光庁が毎月発表する「宿泊旅行統計調査」により、延べ宿泊者数の達成状況の確認を行う。	15,810人泊(R2.1月～10月) (前年同期:78,370人泊)	4年後(R5年)の目標見直しが必要 [要因・課題] ・新型コロナウイルス感染症による海外渡航制限	2.5万人泊 (10万人泊)	・訪日旅行に関心のある方々に向けて、デジタル技術の手法を活用した本県の魅力をダイレクトに伝えるプロモーションの推進(デジタルプロモーション等事業)。